

19. 日本大学医学部（私立）

<http://www.nihon-u.ac.jp/>（日本大学）、
<http://www.med.nihon-u.ac.jp/>（医学部）

Nihon University School of Medicine

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

電話03-3972-8111(代)

FAX03-5995-8777（教務課）

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を学習要項という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらずすべて1年生に入学する。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間行うが合宿ではない。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1年生である。

その期間と内容：

1年生：27日間：医学序論

1年生：3日間：社会体験学習（外部施設実習）

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

3年生は、平均して週3時間×年間26回である。

4年生は、平均して週3時間×年間26回である。

自習用に割り当てられている時間は

3年生は、平均して週10時間×年間26回である。

4年生は、平均して週10時間×年間26回である。

チューターは学年により異なっていて一般教養系、基礎医学系、臨床医学系を問わない。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、平成18年に行われ、それにはモデル・コア・カリキュラムを全面的に組み入れている。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

症例を中心とした問題解決型学習「PBLチュートリアルシステム」を導入することにより、学生主体の能動的学習を促進し、医学知識の深い理解と実践的な思考能力を修得することを目的としてカリキュラムの一部を改編した。

K. 今後のカリキュラム改訂は平成20年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

6年間一貫医学英語教育を平成20年度から実施する予定である。

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

なし。

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にではない。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- C. 医学部のみの大学に伺います。
一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。
- D. 一般教育（教養）部門では一部が選択科目で、それは一般教育（教養）の約40%である。
- E. 平成19年新生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は約40%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新生にはセンター試験が導入されていない。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、全員が
4年生の時に平均して1週35時間×6週間配属される。
5年生の時に平均して1週38時間×1週間配属される。
6年生の時に平均して1週30時間×7週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
(28日間)
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週38時間で、36週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）
で臨床実習を行っている。
その期間は全部で1週で、そこで行う実習科目は（小児科（平成19年度から））である。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは内科や外科などの主な臨床実習実施科で導入している。
一部の臨床実習実施科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の
範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格になれば、再び全科の臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
マニュアルが刊行されている。
保険制度に加入している。
ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

A. 学生の海外における実習は基礎医学実習と臨床実習の両方を行う機会がある。

期間は最長 基礎医学実習は7週

臨床実習は 7週である。

7. 評価について

A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時、5年終了時である。

B. 成績の記録法は点数制を採用している。

C. 卒業判定のための試験は行われていない。

D. 6年生の10月以降には、系統講義、臨床講義が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。

E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学生である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基 礎**	臨 床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	1	11	36	0	5	53
	准教授	8	9	43	0	7	67
	講 師	6	18	95	0	2	121
	助 教	0	3	68	0	5	76
	その他	1	16	154	0	4	175
	合 計	16	57	396	0	23	492

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授	0	6	36	0	1	43
	准教授	0	0	0	0	0	0
	講 師	12	33	356	0	4	405
	助 教	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	合 計	12	39	392	0	5	448

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

日本大学任期制教員規程に基づき、教授、准教授の任用を行う。任期は5年（3期まで）

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていない。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	117	43	0	5	0	0	0
2	130	35	0	22	1	0	0
3	103	26	0	2	1	0	0
4	117	37	0	4	0	0	0
5	115	37	0	8	0	0	0
6	97	33	0	4	2	0	0
合計	679	211	0	45	4	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,525名、合格者数165名、倍率15.3倍

入学者数112名、（定員120名、うち推薦入学者数15名）

入学者の状況：現役35名、1浪34名、2浪20名、その他23名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,577名、合格者数178名、倍率14.5倍

入学者数111名、（定員120名、うち推薦入学者数15名）

入学者の状況：現役31名、1浪26名、2浪24名、その他30名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

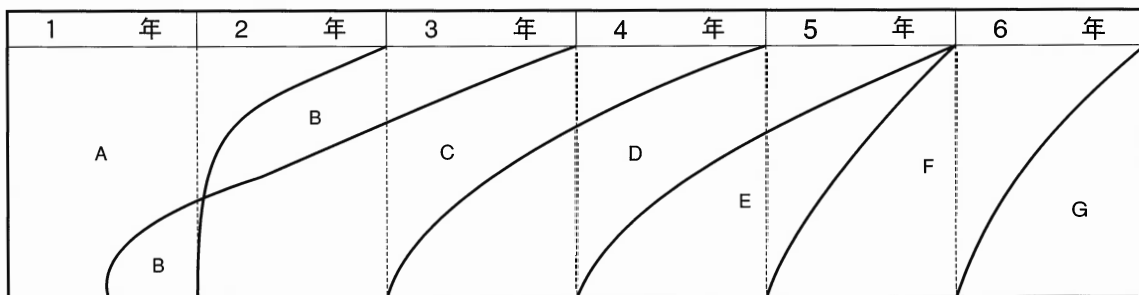
学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL／ チュートリアル
1		○		1185	0	
2		○		1020	0	
3		○		1369	0	26週
4		○		1029	0	26週
5		○		1396	0	
6		○		617	0	

（アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。）

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は5年はある

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）



(註) A：一般教育

B：基礎医学

C：臨床医学

D：社会医学

E：臨床実習

F：自由選択学習，医学・医療総論，臨床講義（PMP-CC含む），総合講義

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
人体構造概論	15		15
構造総論	25		25
構造実習	120		120
機能総論	30		30
発生・生殖	25		25
運動器	27		27
神経科学	85		85
消化・吸収	26		26
栄養・代謝	50		50
基礎血液学	17		17
呼吸	17		17
内分泌	25		25
環境	30		30
腎・体液	15		15
免疫	18		18
基礎医科学	48		48
基礎医学実習	72		72
微生物学（含実習）	92		92
病理学	120		120
問題基盤型学習序論	35		35
救急医学	35		35
先天異常，周産期，成長，発達	105		105
心臓・脈管	140		140
呼吸器・胸壁・縦隔	105		105
消化器・腹壁・腹膜	175		175
腎・泌尿器・生殖器	175		175
神経・運動器	140		140
内分泌・代謝・栄養	105		105
臨床薬理学	35		35
精神医学	70		70
皮膚・頭頸部	140		140
アレルギー，膠原病，免疫	70		70
放射線治療医学	35		35
社会医学	210		210
生活環境・職業と疾患	70		70
血液・造血器	70		70
感染性疾患	105		105
診断学実習	110		110
検査診断学実習	30		30
臨床実習序論	70		70
医学・医療総論	50		50
臨床講義（PMP・CC含む）	180		180
自由選択学習	245		245
総合講義	300		300
合 計	3662	0	3662

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	1185		1185
2 学年	1020		1020
3 学年	1369		1369
4 学年	1029		1029
5 学年	1396		1396
6 学年	617		617
合 計	6616	0	6616

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

医用（電子）工学（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、人類遺伝学（臨床遺伝学）、行動科学、医療福祉学（医療社会福祉学）、医学外国語、医療安全、医の倫理、緩和ケア、医療経済、医療情報学、高齢医学、在宅ケア・介護、プライマリ・ケア、家庭医学、臨床医学、人間関係学、医療保険

18. MD-PhDコースを設置していない。